

平成25年度全国学力・学習状況調査

柏原市における結果の概要について

調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒

調査の概要

1. 調査日 平成25年4月24日(水)
2. 対象者 小学校6年生・中学校3年生の全児童・生徒
3. 調査科目 小学校6年生 国語AとB・算数AとB・質問紙調査
中学校3年生 国語AとB・数学AとB・質問紙調査

調査A

- 主として「知識」に関する問題
- 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす
- 実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていること

調査B

- 主として「活用」に関する問題
- 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力などにかかわる
- 様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力など

質問紙
調査

- 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等についての調

調査の結果の公表

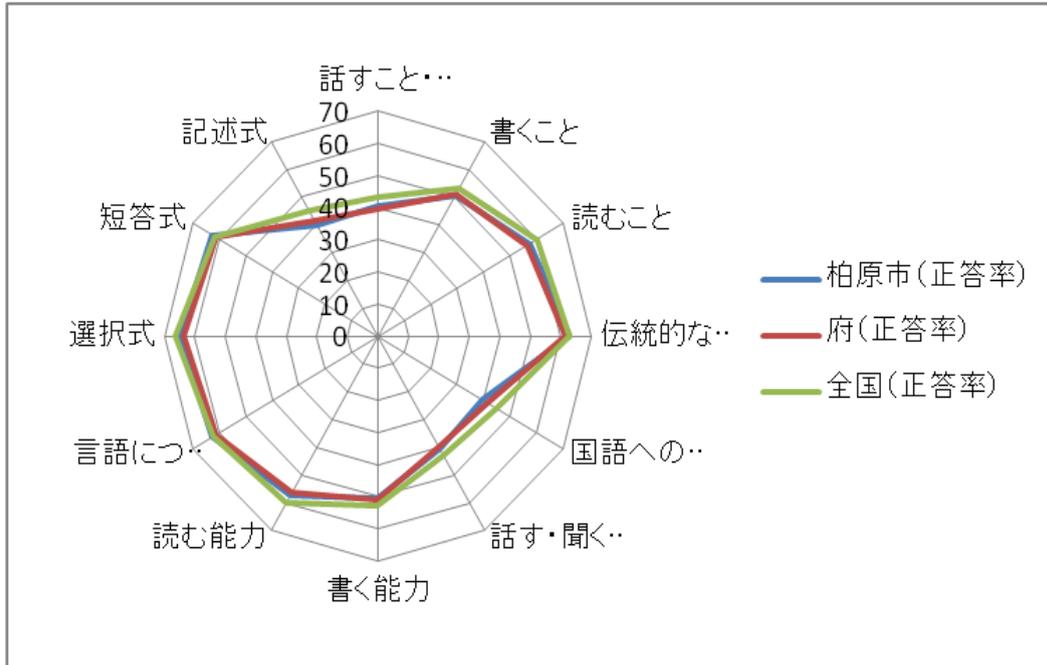
- この調査から測定できるのは学力の特定の一部分で、学校における教育活動の一側面に過ぎません。序列化や過度な競争につながらないように十分配慮します。
- 他校との優劣の比較が目的ではありません。柏原市全体の児童生徒の現状を十分に把握して、今後の教育施策に反映させ、「生きる力」を育むことに活用します。
- 知育、徳育、体育を含めた広い意味で学力向上に役立てることを目的として、公表にあたっては、学校名を明らかにしません。

各教科別の調査結果の概要

各教科別の調査結果の概要

①小学校国語A(主として知識に関する問題)

	平均正答率(%)
柏原市	62.4
大阪府(公立)	61.2
全国(公立)	62.7



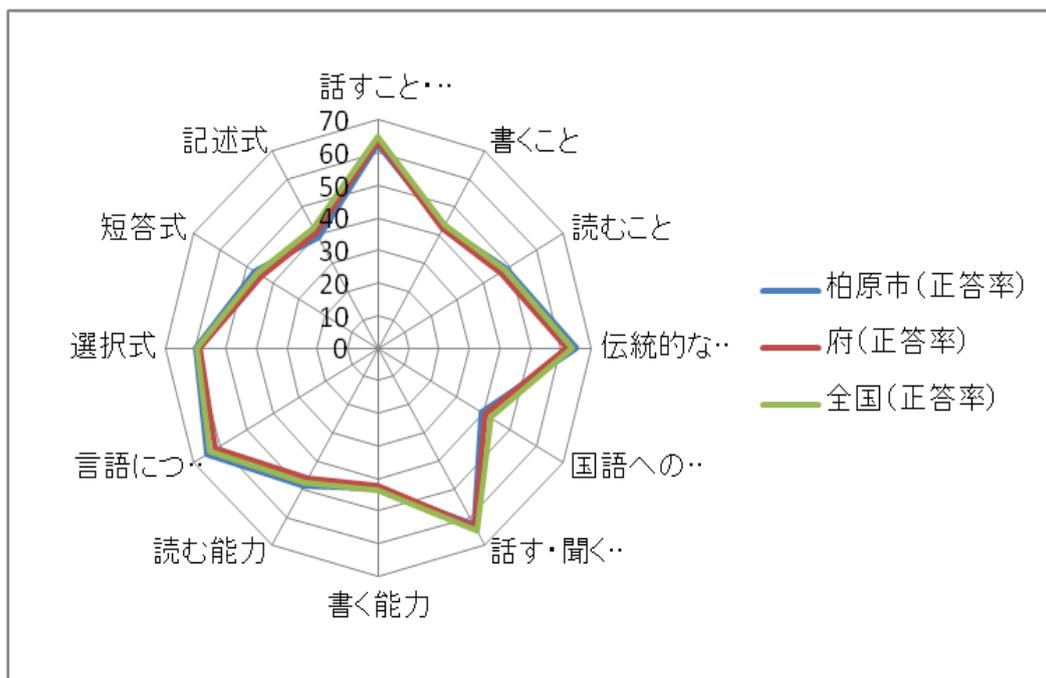
各項目については以下の表にあるように3つの視点から分類されています。

分類	区分	対象設問数(問)
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	1
	書くこと	4
	読むこと	3
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	15
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	1
	話す・聞く能力	1
	書く能力	4
	読む能力	3
	言語についての知識・理解・技能	15
問題形式	選択式	7
	短答式	10
	記述式	1

「国語への関心・意欲・態度」「記述式」「話すこと」に課題が見られます。

②小学校国語B(主として活用に関する問題)

	平均正答率(%)
柏原市	49.3
大阪府(公立)	47.9
全国(公立)	49.4



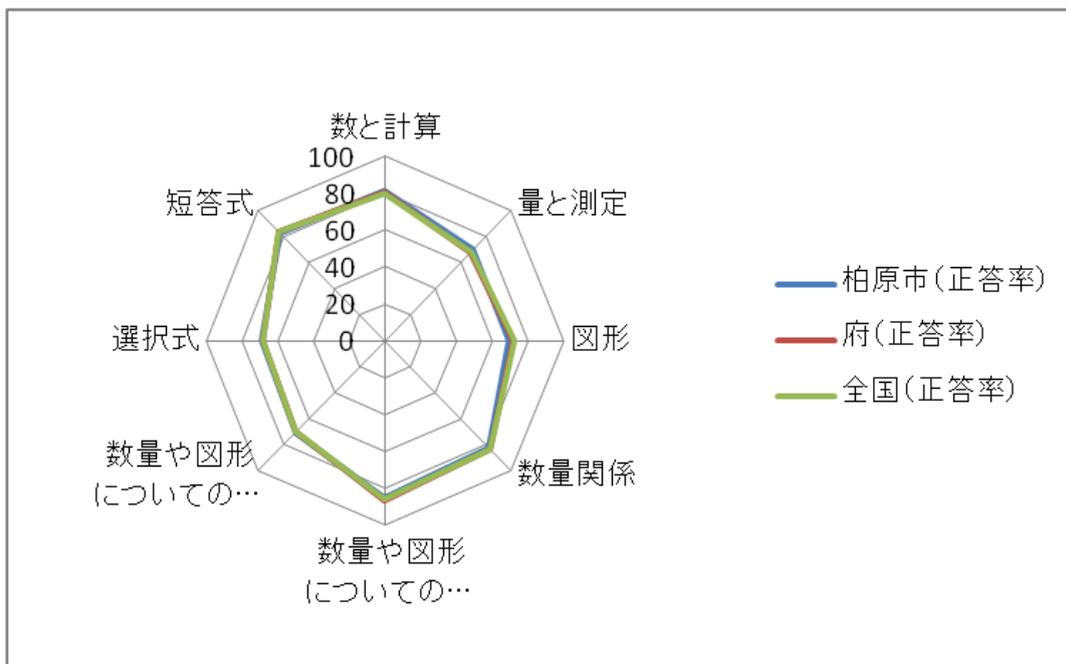
各項目については以下の表にあるように3つの視点から分類されています。

分類	区分	対象設問数(問)
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	3
	書くこと	4
	読むこと	4
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	1
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	2
	話す・聞く能力	3
	書く能力	4
	読む能力	4
	言語についての知識・理解・技能	1
問題形式	選択式	3
	短答式	5
	記述式	2

「言語についての知識・理解・技能」が全国平均、府平均を上回っています。

③小学校算数A(主として知識に関する問題)

	平均正答率(%)
柏原市	77.1
大阪府(公立)	77.1
全国(公立)	77.2



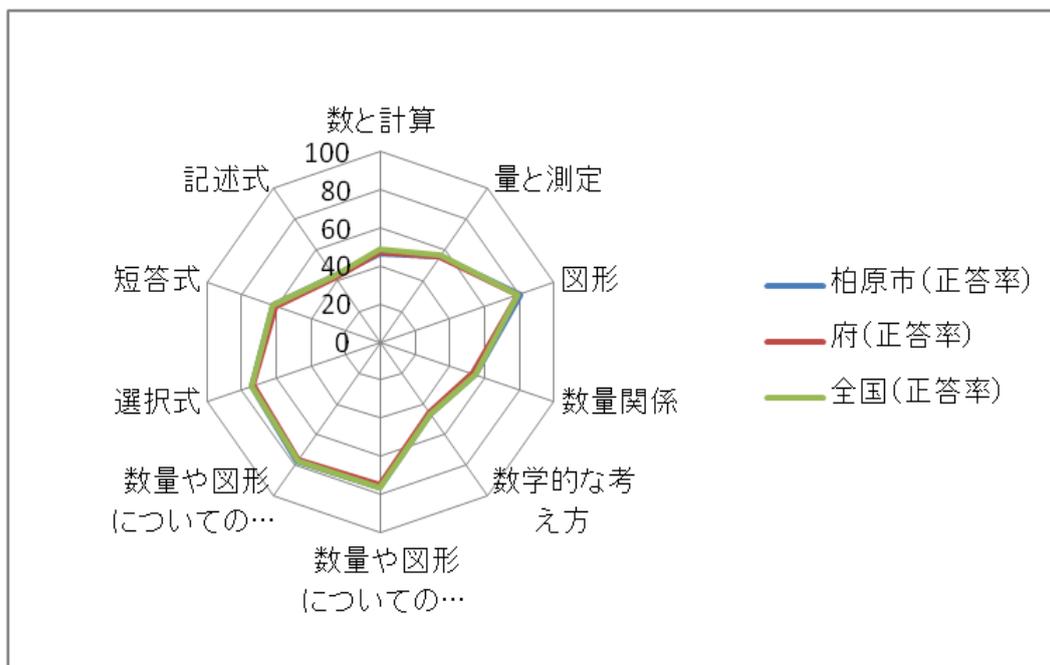
各項目については以下の表にあるように3つの視点から分類されています。

分類	区分	対象設問数(問)
学習指導要領の領域等	数と計算	8
	量と測定	4
	図形	3
	数量関係	4
評価の観点	算数への関心・意欲・態度	0
	数学的な考え方	0
	数量や図形についての技能	8
	数量や図形についての知識・理解	11
問題形式	選択式	8
	短答式	11
	記述式	0

昨年度に比べ、「量と測定」「数量関係」に改善がみられます。

④小学校算数B(主として活用に関する問題)

	平均正答率(%)
柏原市	58.5
大阪府(公立)	57.3
全国(公立)	58.4



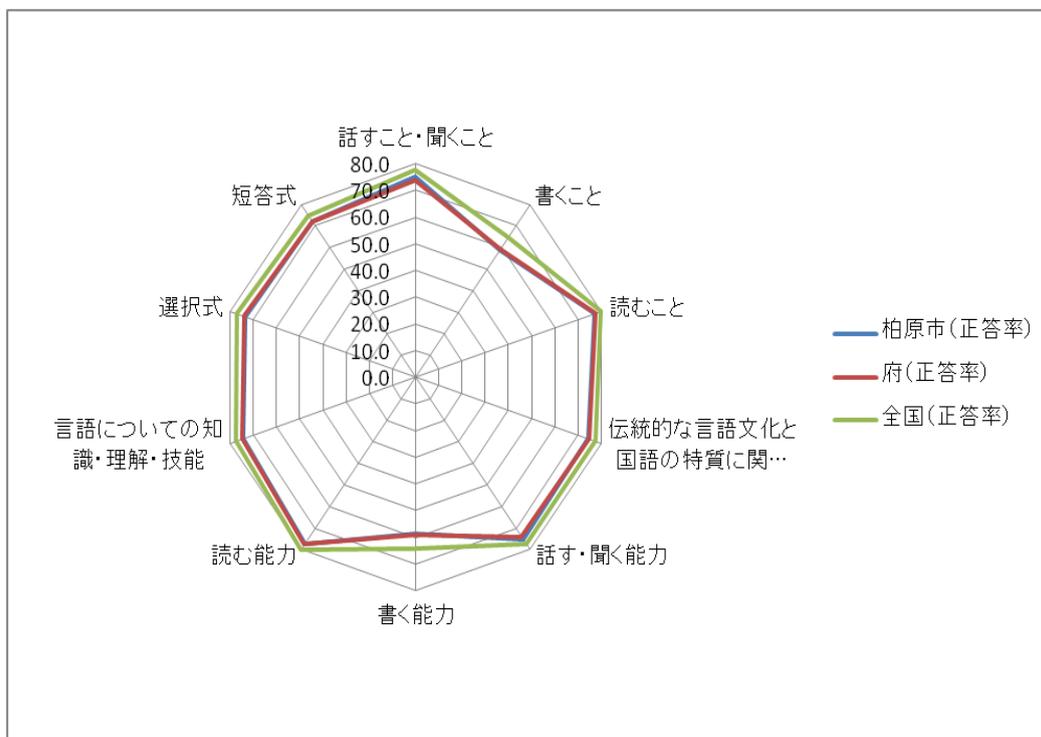
各項目については以下の表にあるように3つの視点から分類されています。

分類	区分	対象設問数(問)
学習指導要領の領域等	数と計算	3
	量と測定	7
	図形	3
	数量関係	7
評価の観点	算数への関心・意欲・態度	0
	数学的な考え方	8
	数量や図形についての技能	1
	数量や図形についての知識・理解	4
問題形式	選択式	4
	短答式	4
	記述式	5

昨年と比較して「記述式」に改善がみられます。

⑤中学校国語A(主として知識に関する問題)

	平均正答率(%)
柏原市	73.1
大阪府(公立)	73.3
全国(公立)	76.4



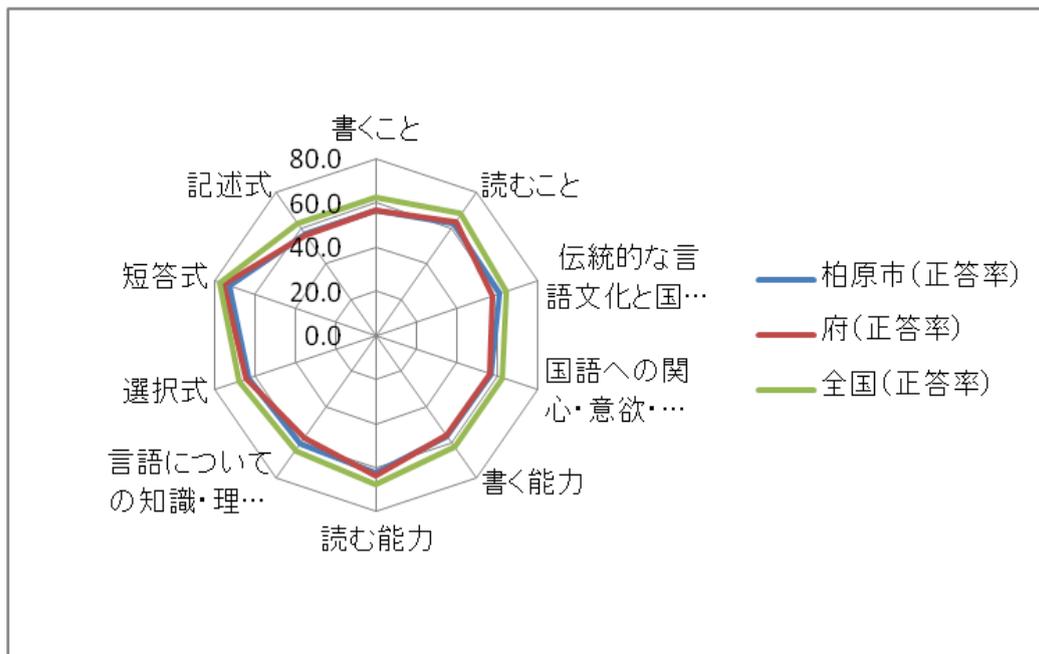
各項目については以下の表にあるように3つの視点から分類されています。

分類	区分	対象設問数(問)
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	4
	書くこと	4
	読むこと	6
	言語事項	18
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	0
	話す・聞く能力	4
	書く能力	4
	読む能力	6
	言語についての知識・理解・技能	18
問題形式	選択式	21
	短答式	11
	記述式	0

全国平均に比べ昨年度同様、「書くこと」「書く能力」に課題が見られます。

⑥中学校国語B(主として活用に関する問題)

	平均正答率(%)
柏原市	62.2
大阪府(公立)	63.0
全国(公立)	67.4



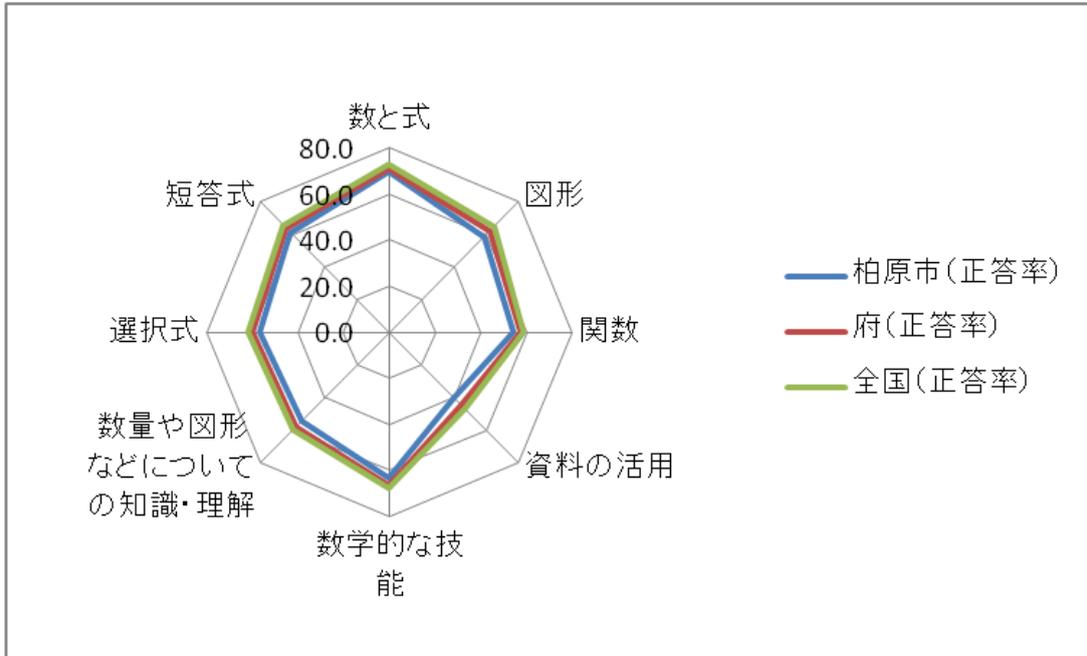
各項目については以下の表にあるように3つの視点から分類されています。

分類	区分	対象設問数(問)
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	0
	書くこと	3
	読むこと	8
	言語事項	1
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	3
	話す・聞く能力	0
	書く能力	3
	読む能力	8
	言語についての知識・理解・技能	1
問題形式	選択式	5
	短答式	1
	記述式	3

「書くこと」「書く能力」に課題が見られます。

⑦中学校数学A(主として知識に関する問題)

	平均正答率(%)
柏原市	58.7
大阪府(公立)	61.7
全国(公立)	63.7



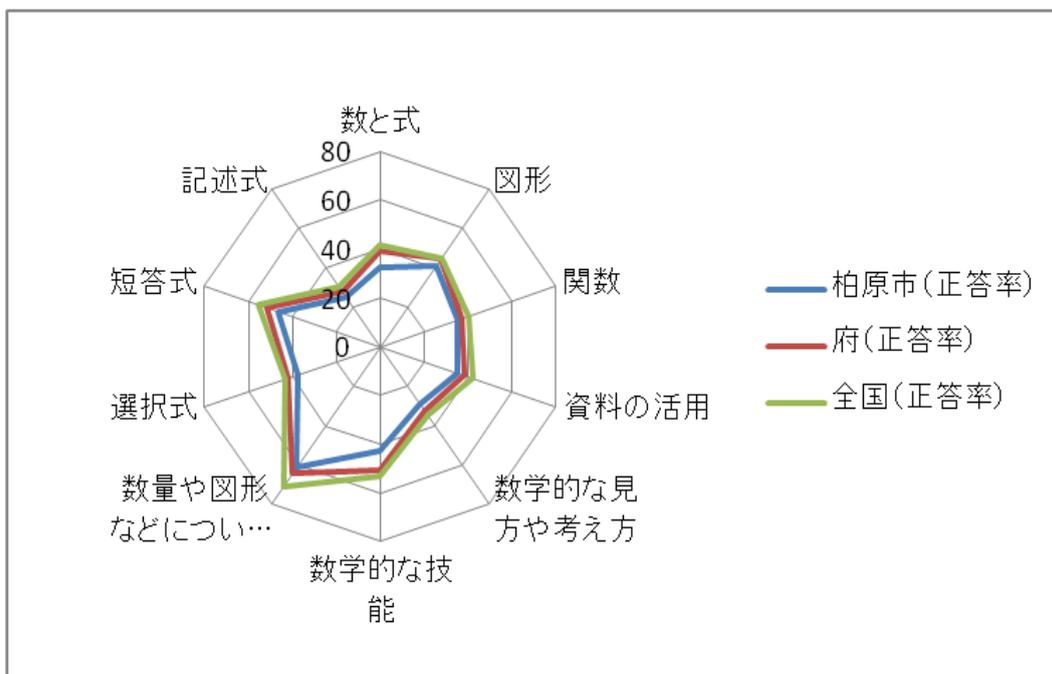
各項目については以下の表にあるように3つの視点から分類されています。

分類	区分	対象設問数(問)
学習指導要領の領域等	数と式	11
	図形	12
	関数	9
	資料の活用	4
評価の観点	数学への関心・意欲・態度	0
	数学的な見方や考え方	0
	数学的な技能	17
	数量、図形などについての知識・理解	19
問題形式	選択式	18
	短答式	18
	記述式	0

「資料の活用」に課題が見られます。

⑧中学校数学B(主として活用に関する問題)

	平均正答率(%)
柏原市	34.8
大阪府(公立)	38.8
全国(公立)	41.5



各項目については以下の表にあるように3つの視点から分類されています。

分類	区分	対象設問数(問)
学習指導要領の領域等	数と式	5
	関数	2
	資料の活用	6
	関数	3
評価の観点	数学への関心・意欲・態度	0
	数学的な見方や考え方	12
	数学的な技能	2
	数量、図形などについての知識・理解	2
問題形式	選択式	4
	短答式	5
	記述式	7

活用に関する問題全般に課題が見られます。

生活習慣や学習環境に関する質問紙調査結果の概要

生活習慣や学習環境に関する質問紙調査結果の概要

基本的な生活習慣

「朝食を毎日食べていますか」

「家で学校の宿題をしますか」

の2項目についてクロス集計を行います。

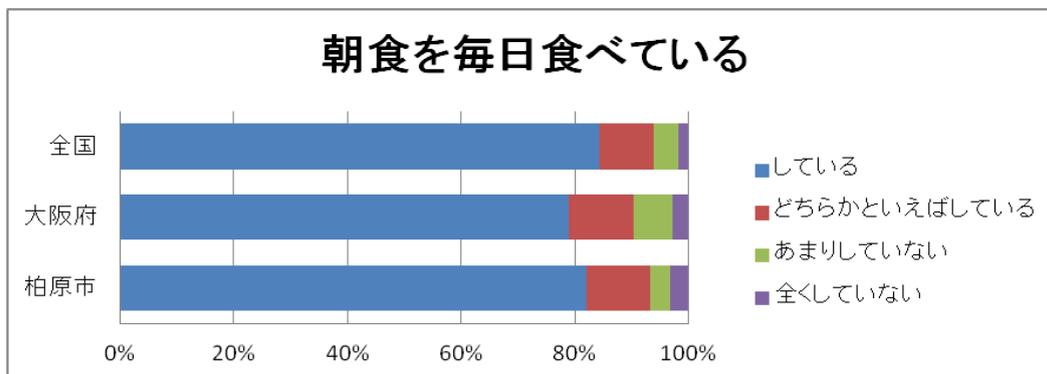
・朝食を食べている本市の児童・生徒の割合は大阪府平均より少し高く、全国平均より少し低い。朝食を食べている児童・生徒ははそうでない児童・生徒より正答率が高い傾向にある。

・宿題をしている本市の児童・生徒の割合は、児童においては、全国及び大阪府平均を上回っている。そして、宿題をしている児童の正答率が高い傾向にある。また宿題をしている本市の生徒の割合は大阪府平均より少し高く全国平均より低い。そして、宿題をしている生徒の正答率が高い傾向にある。

①朝食

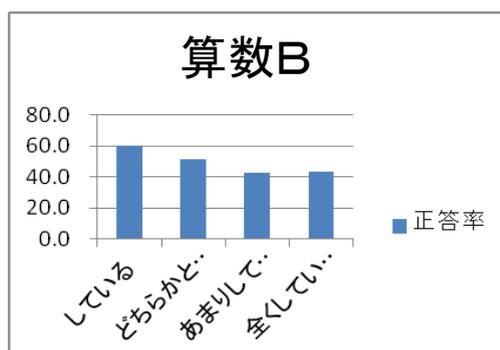
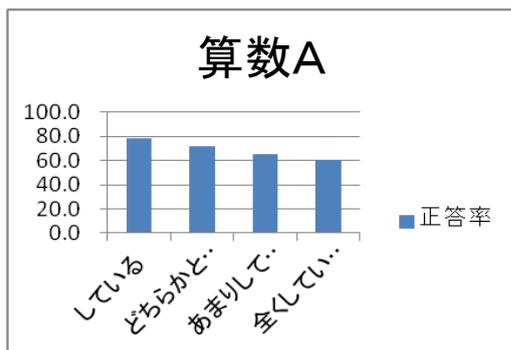
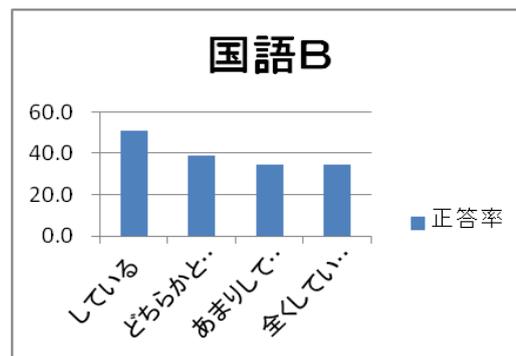
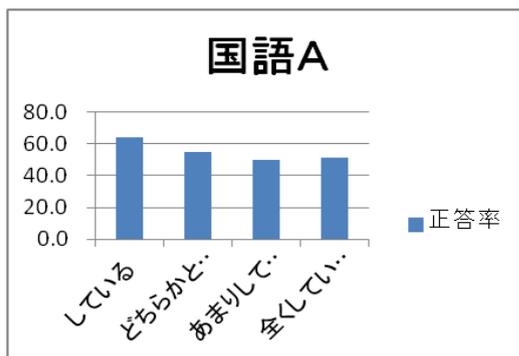
「朝食を毎日食べていますか」

小学生

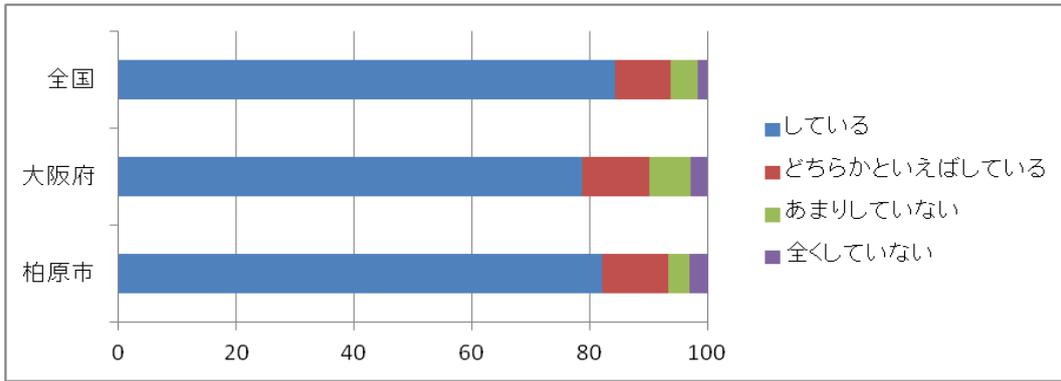


朝食を食べている本市の児童の割合は大阪府平均より少し高く、全国平均より少し低い。朝食を食べている児童はそうでない児童より正答率が高い傾向にある。

学力調査とのクロス集計(縦軸は平均正答率)

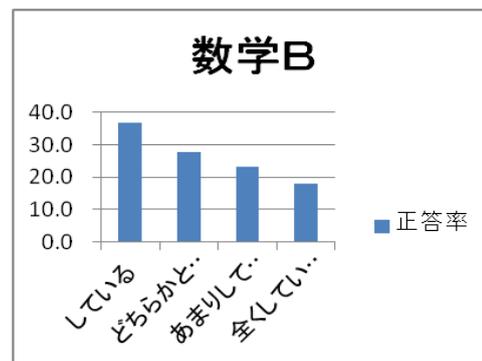
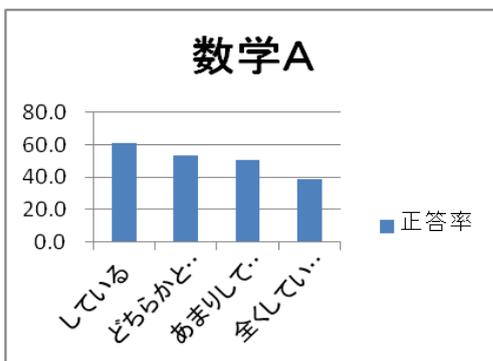
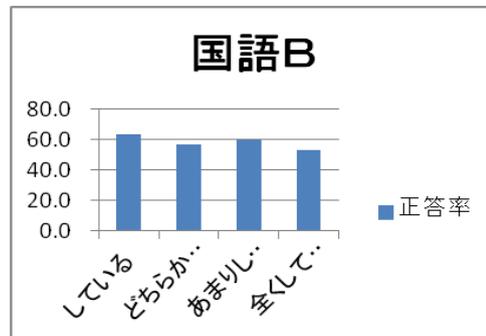
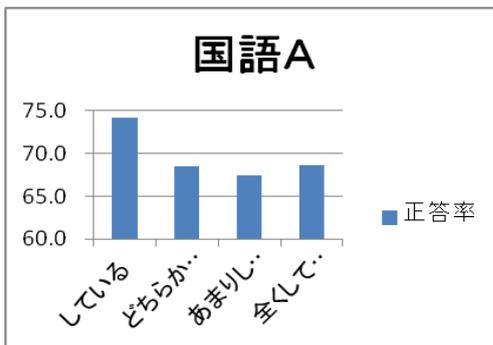


中学生



朝食を食べている本市の生徒の割合は大阪府平均より少し高く、全国平均より少し低い。食べている生徒は全ての教科において正答率が高い傾向がある。

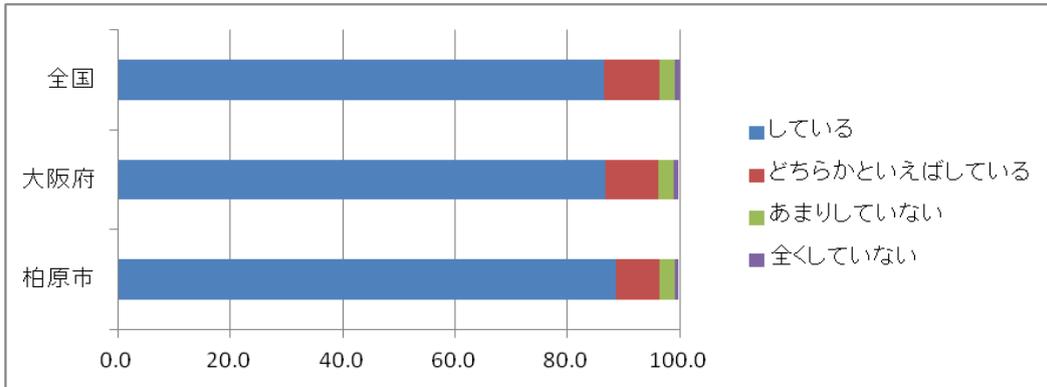
学力調査とのクロス集計(縦軸は平均正答率)



②宿題

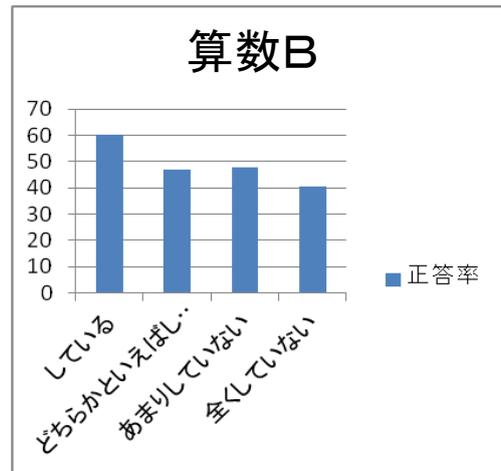
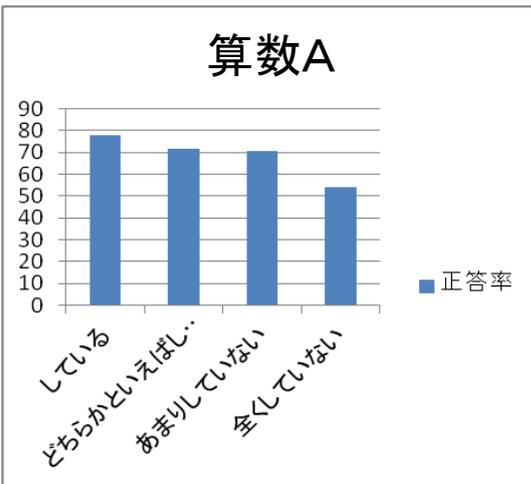
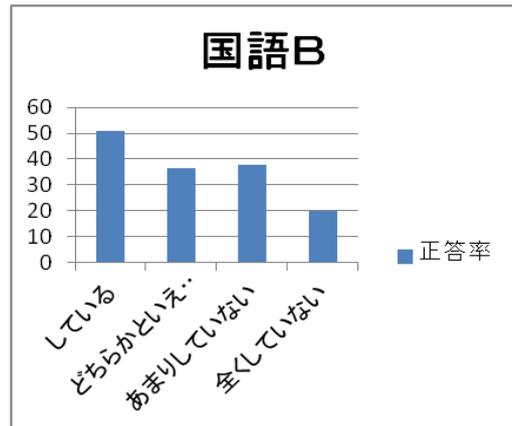
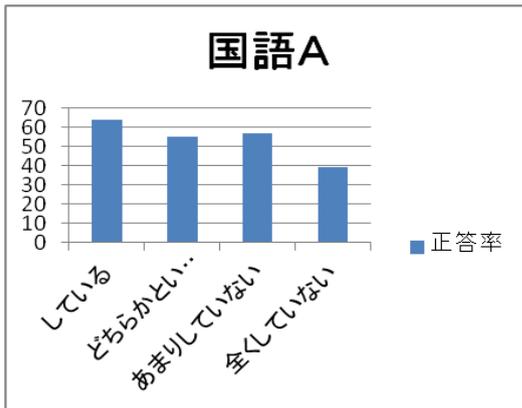
「家で学校の宿題をしていますか」

小学生

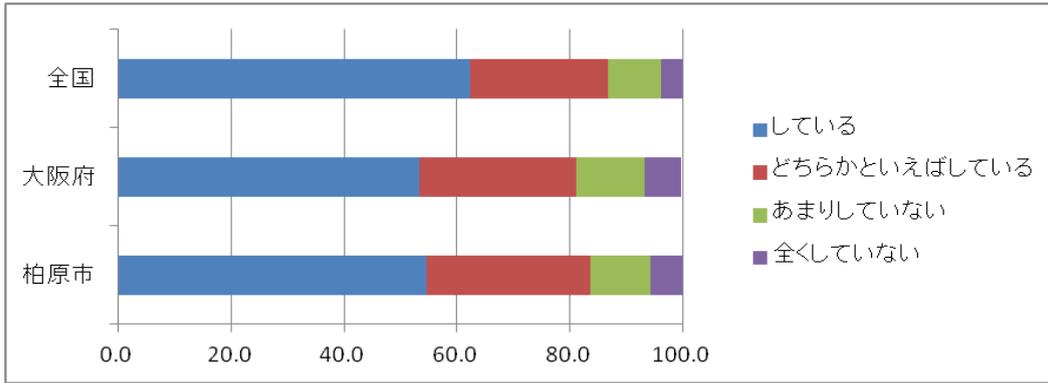


宿題をしている本市の児童の割合は全国及大阪府平均を上回っている。宿題をしている児童の正答率は高い傾向にある。

学力調査とのクロス集計(縦軸は平均正答率)

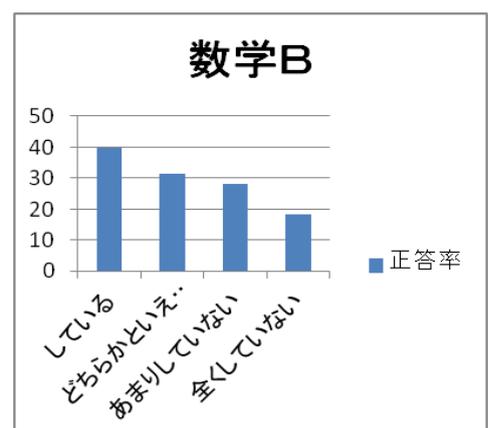
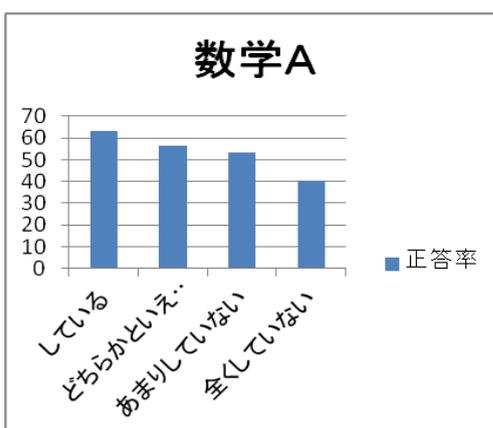
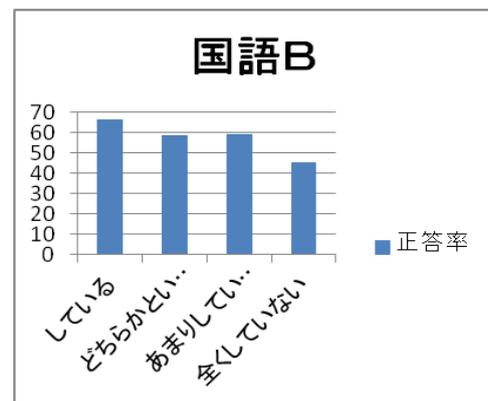
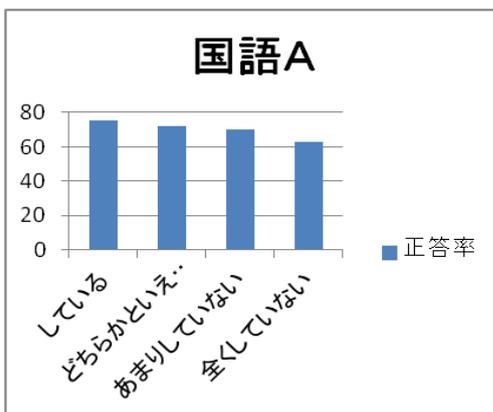


中学校



宿題をしている本市の生徒の割合は大阪府平均より少し高く全国平均より低い。宿題をしている生徒の正答率が高い傾向にある。

学力調査とのクロス集計(縦軸は平均正答率)



家庭学習、学習意欲の概要

家庭学習、学習意欲

「土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾や家庭教師含む)」

「国語の勉強は好きですか」

「算数の勉強は好きですか」

「数学の勉強は好きですか」

「読書は好きですか」

・本市の児童・生徒の休日の学習時間は全国及び大阪府の平均より低い傾向にある。クロス集計より家庭学習を4時間以上取り組む児童の正答率が高い傾向である。また、生徒の家庭での学習時間と正答率には比例関係に似た状況がみられる。

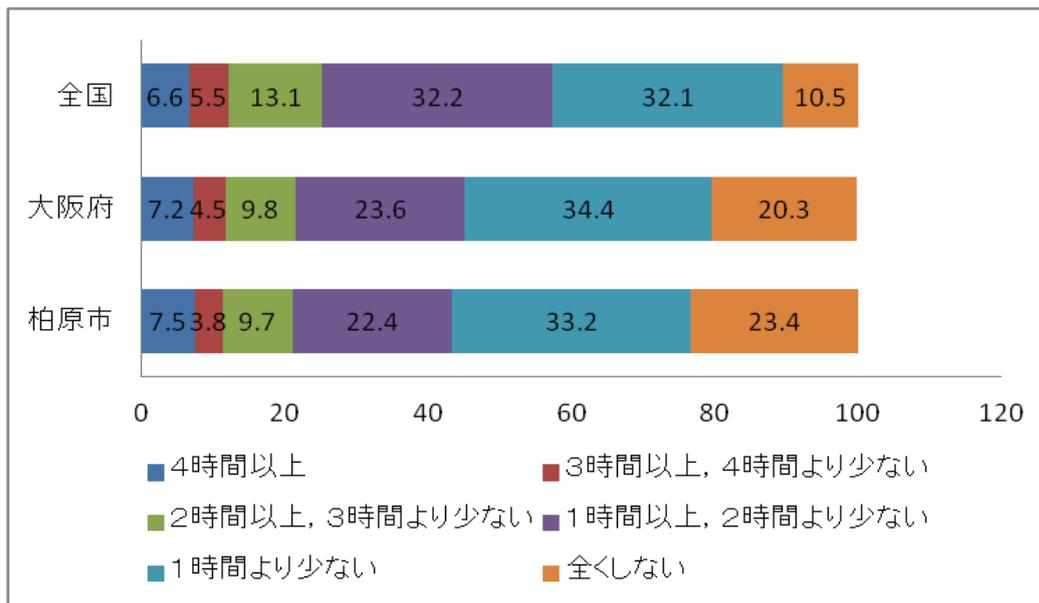
・本市の児童の国語・算数への3つの質問は、全国及び府平均並であった。

・本市の生徒への「国語・数学の授業の内容はよくわかりますか」という質問に対してあてはまると答えた割合が、全国及び府平均より高かった。

①家庭学習

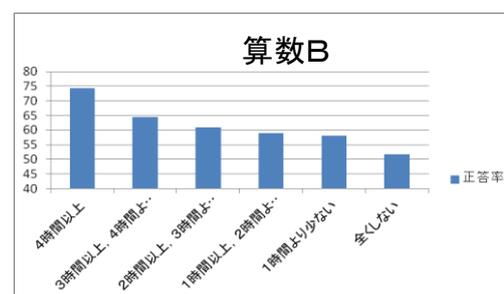
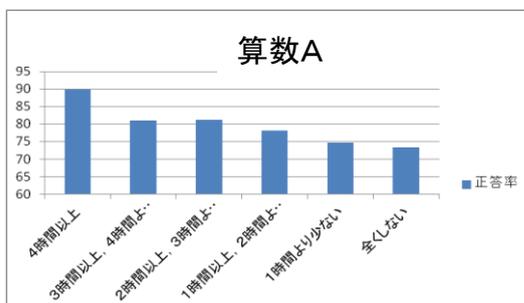
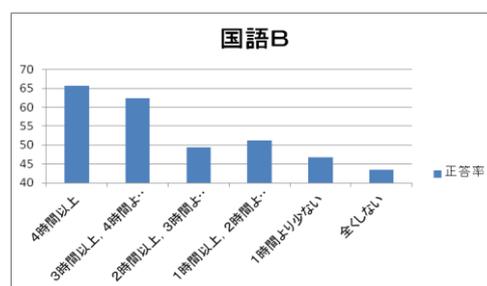
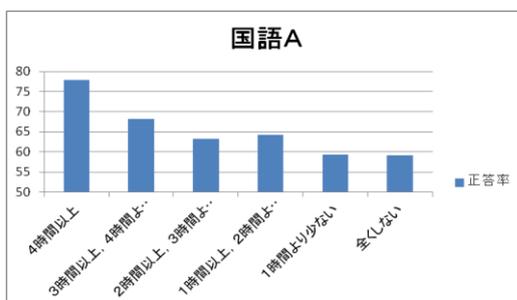
「土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾や家庭教師含む)」

小学生

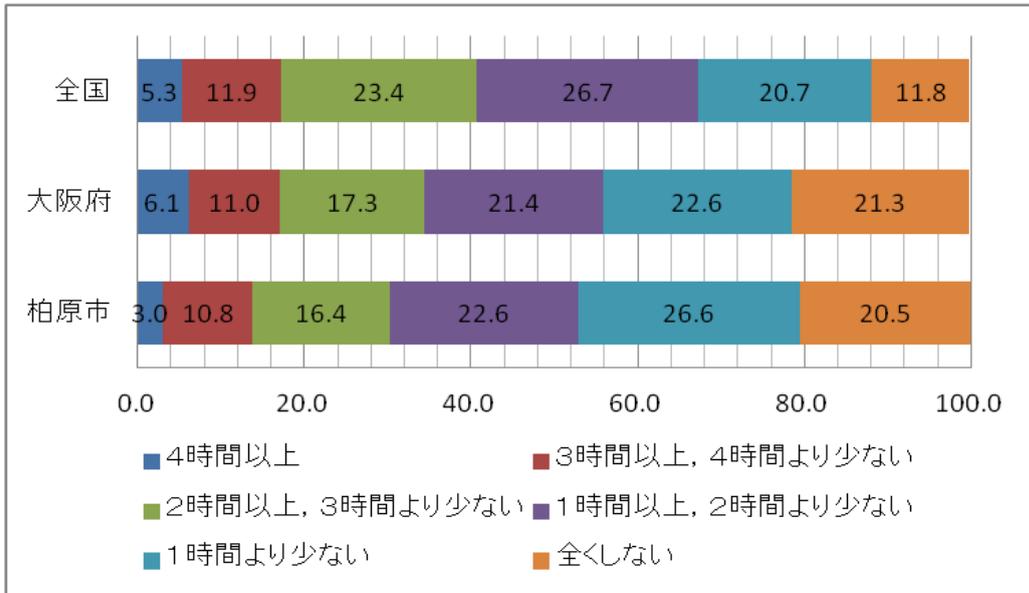


休日の学習時間が全国及び大阪府の平均より低い傾向にある。クロス集計より家庭学習を4時間以上取り組む児童の正答率は高い傾向のある。

学力調査とのクロス集計(縦軸は平均正答率)

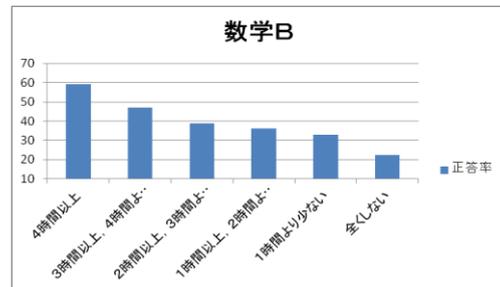
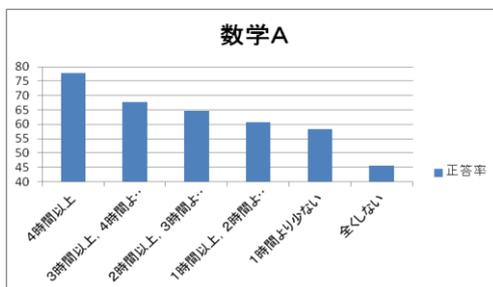
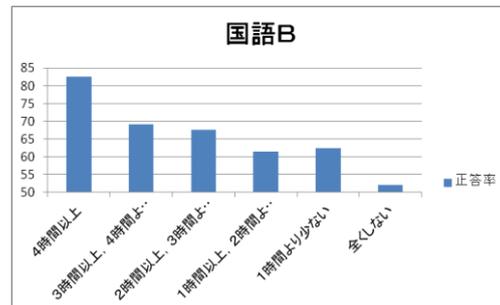
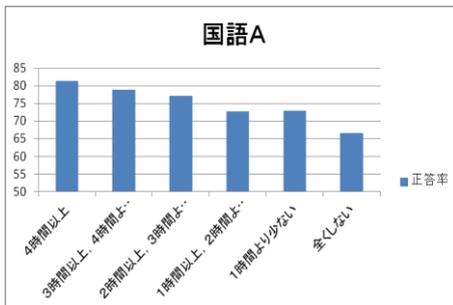


中学生



休日の学習時間が全国及び大阪府の平均より低い傾向にある。クロス集計より家庭での学習時間と正答率には比例関係に似た状況がみられる。

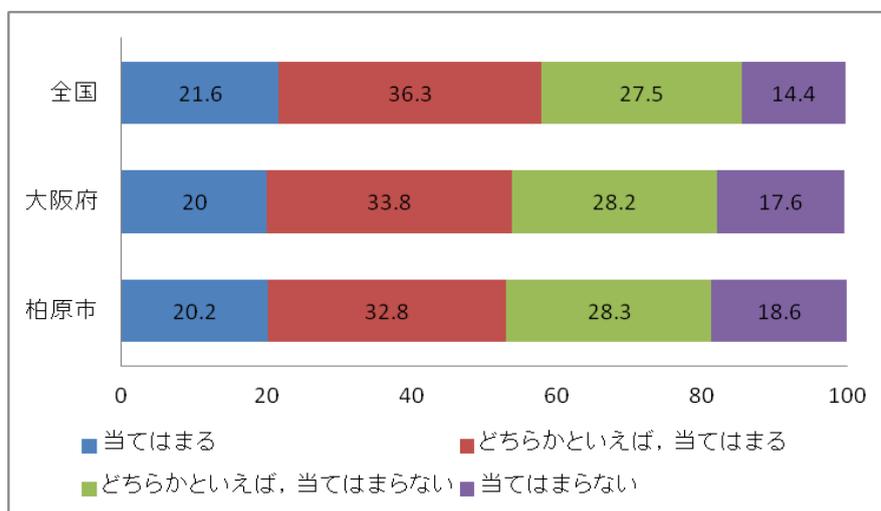
学力調査とのクロス集計(縦軸は平均正答率)



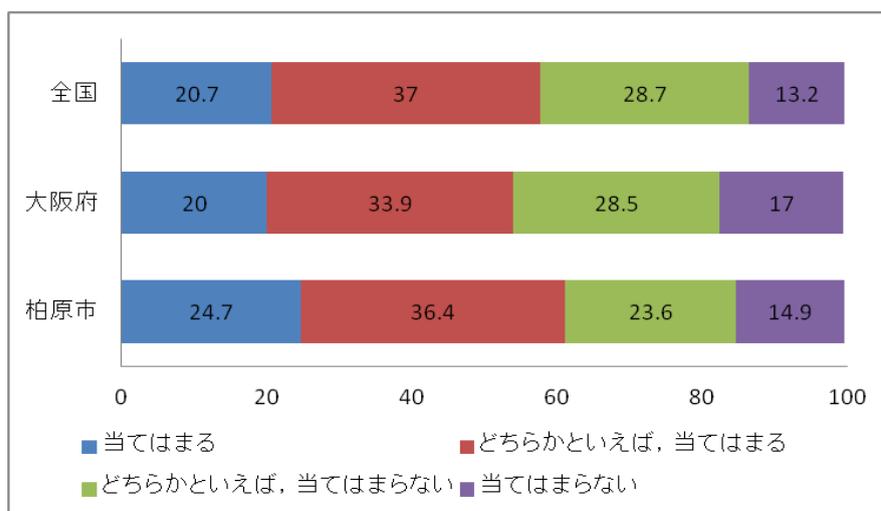
②学習計画

[国語の勉強は好きですか]

小学生

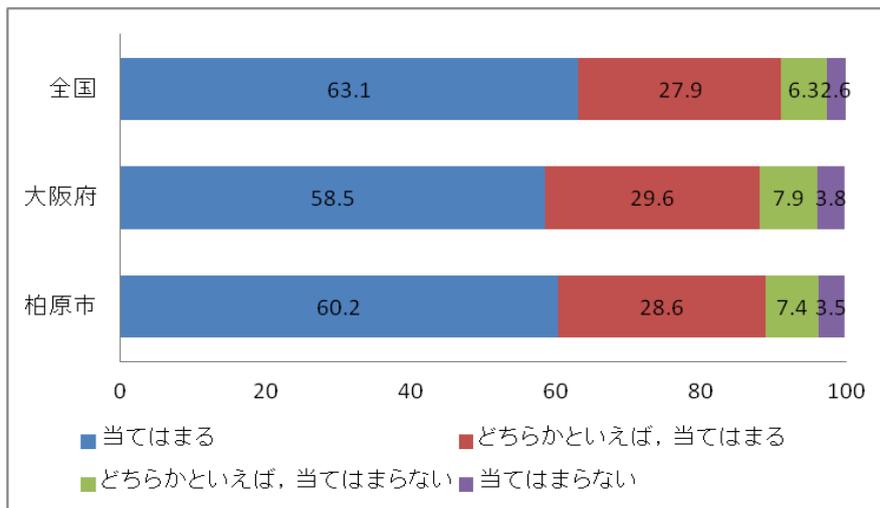


中学校

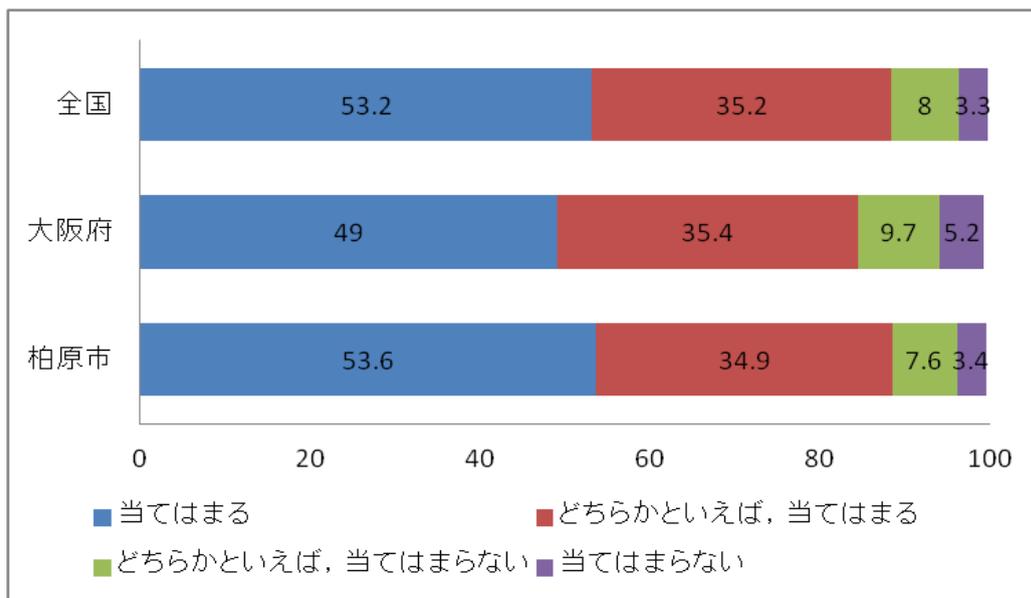


「国語の勉強は大切だと思いますか」

小学生

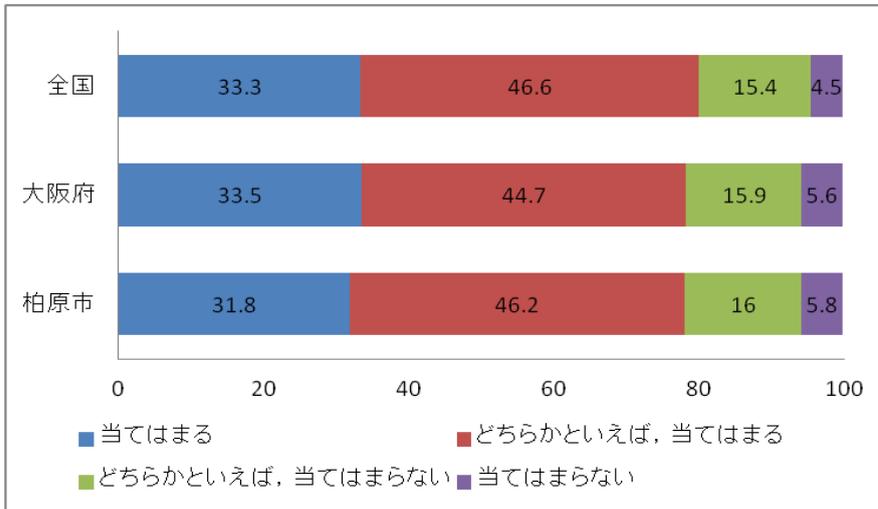


中学校

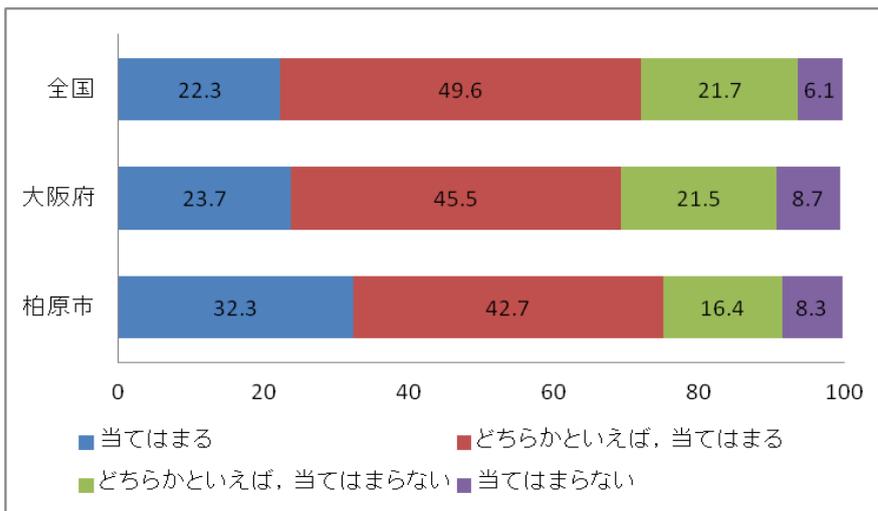


「国語の授業の内容はよく分かりますか」

小学生

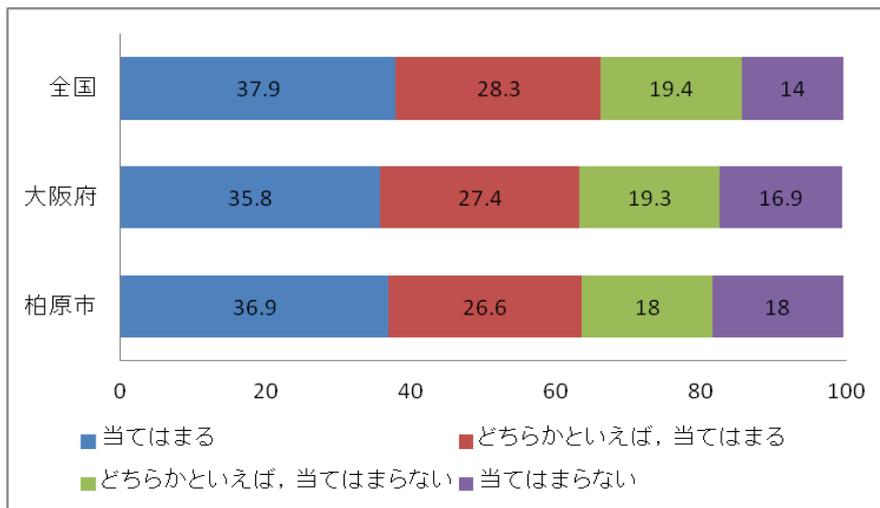


中学生

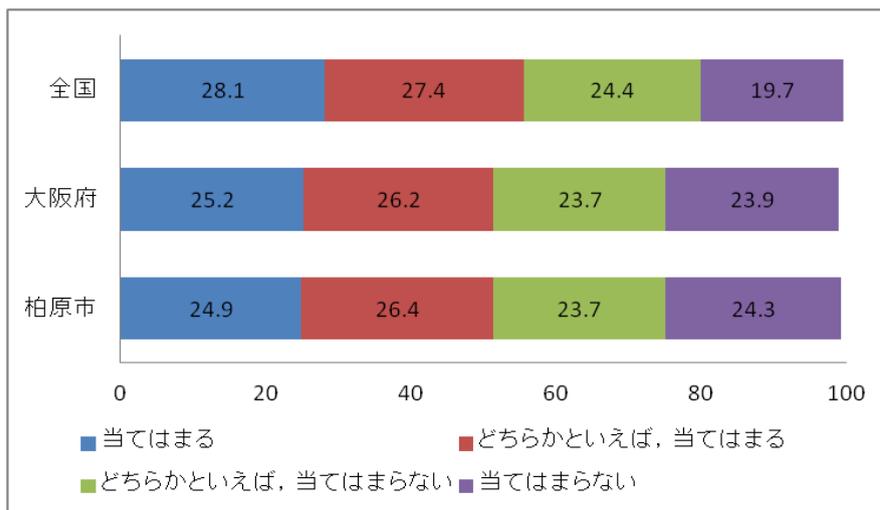


[算数・数学の勉強は好きですか]

小学校

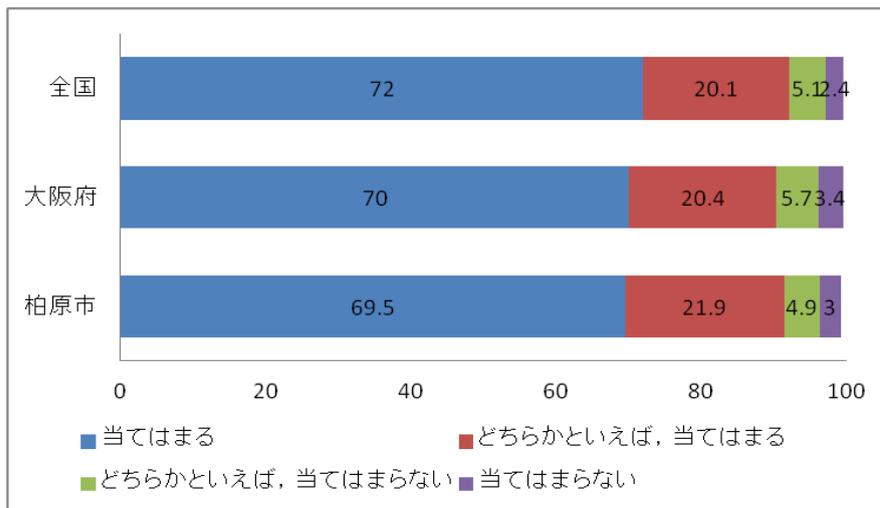


中学校

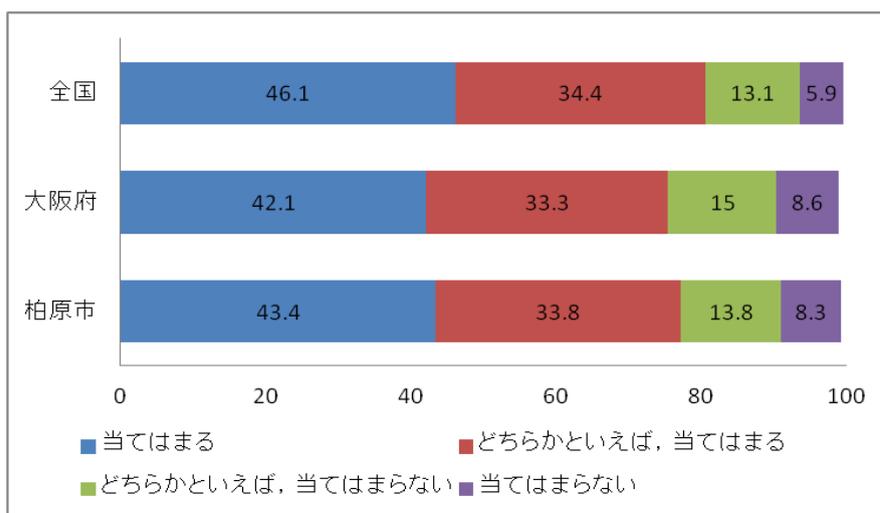


「算数・数学の勉強は大切だと思いますか」

小学校

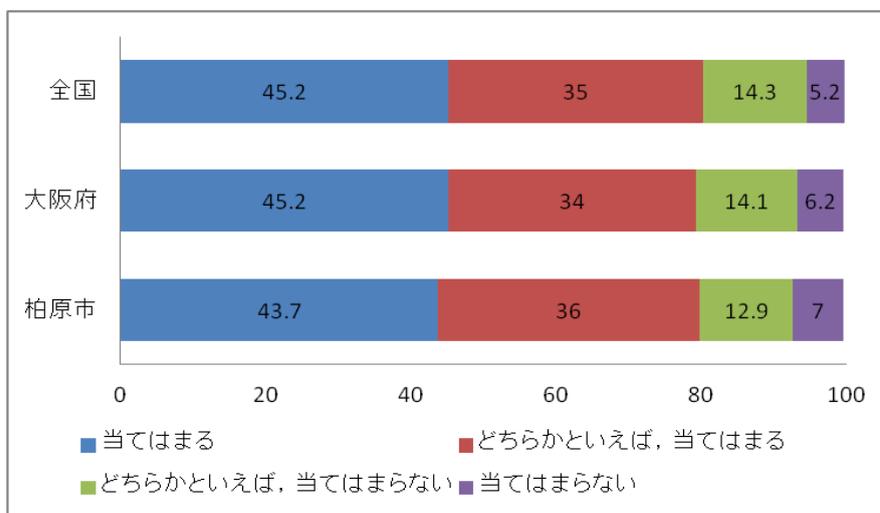


中学校

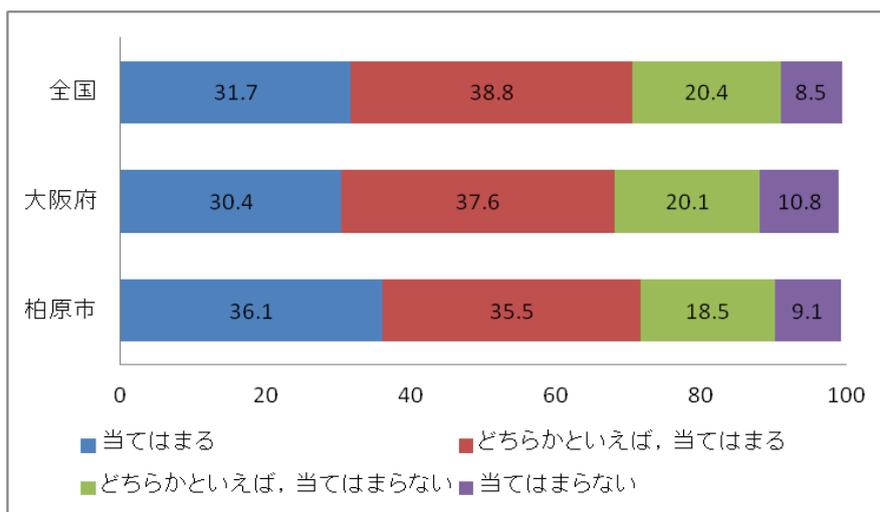


「算数・数学の授業の内容はよくわかりますか」

小学校



中学校

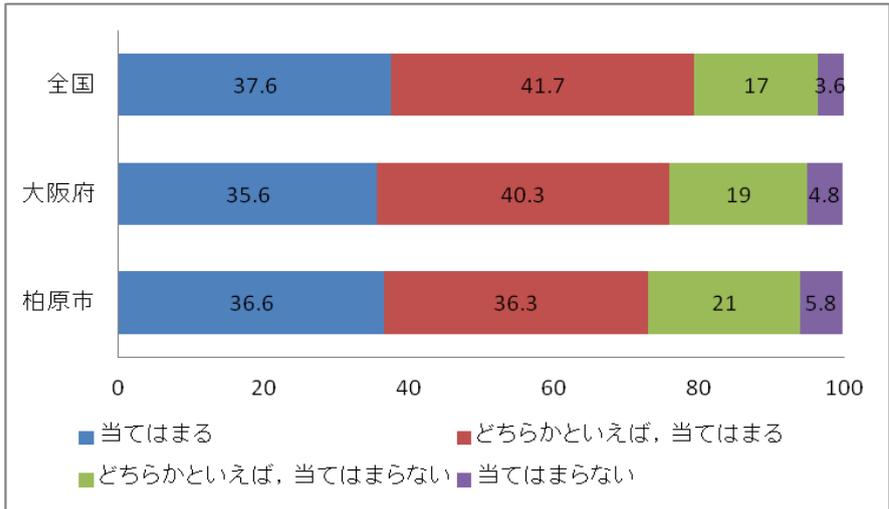


本市の特徴的なものから

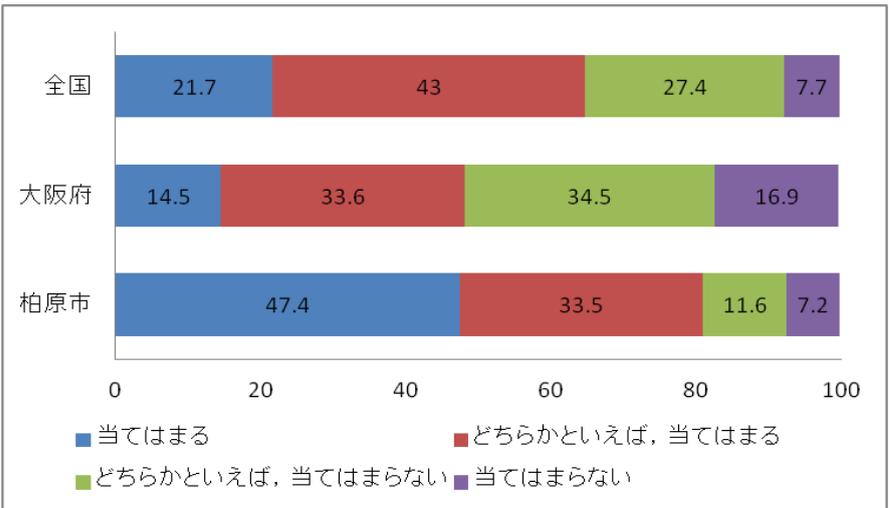
話し合う

「普段の授業では、みんなと話し合う活動をよく行っている」

小学生



中学生

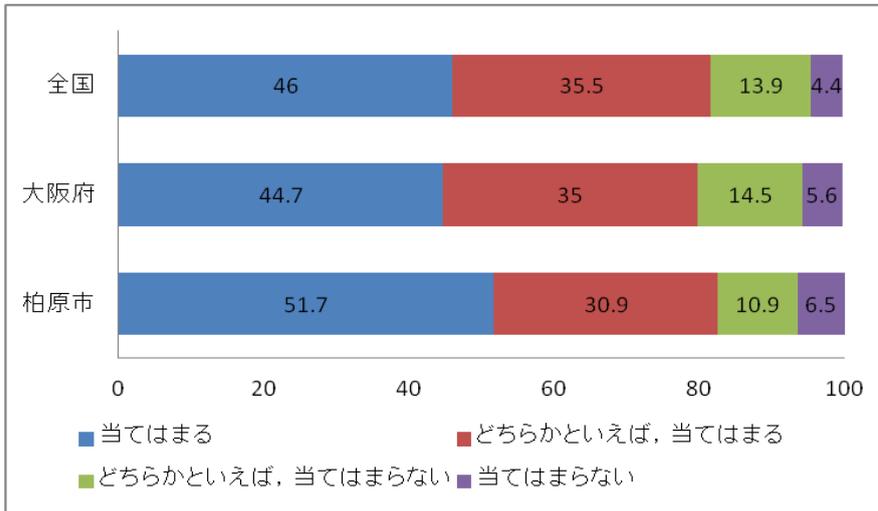


話し合いを中心とした授業がすすめられており、特に中学校では全国及び大阪府平均を大きく上回っている。

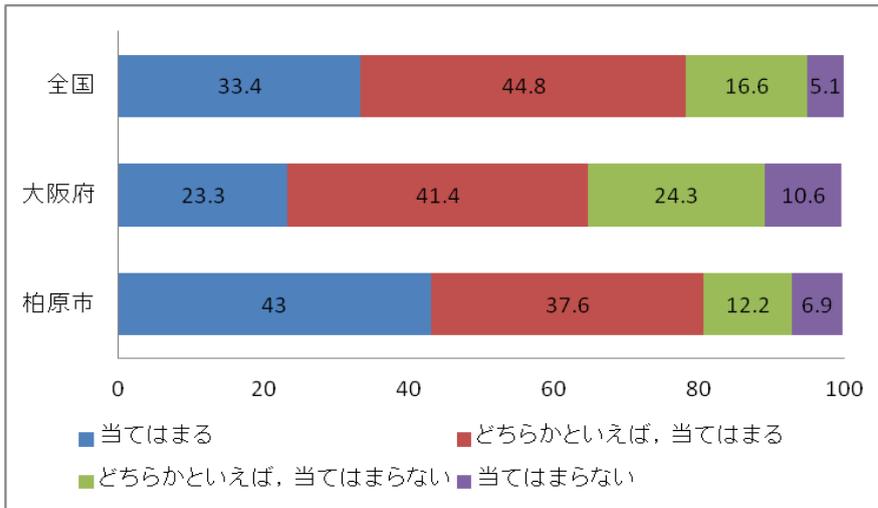
発表する

「普段の授業では、自分の考えを発表する機会がよくある」

小学生



中学生

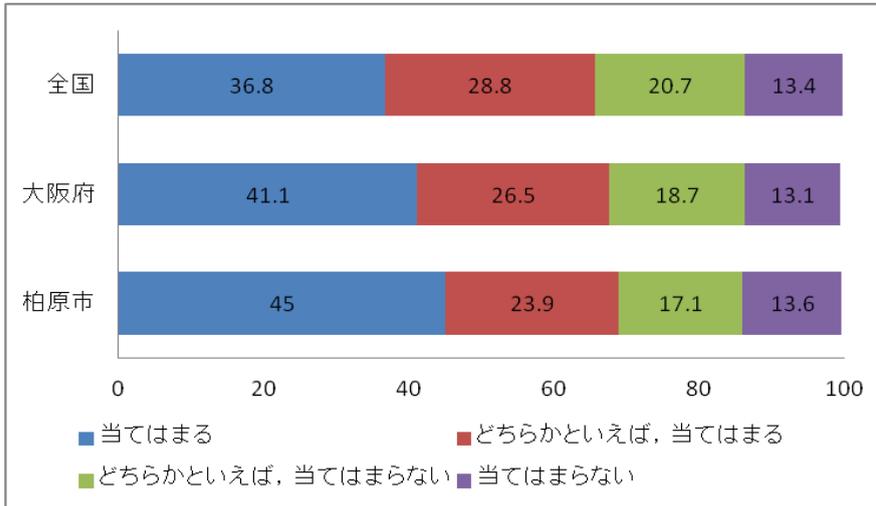


言語活動を中心とした授業が小学校と中学校ともにすすめられており、全国及び大阪府平均より上回っている。

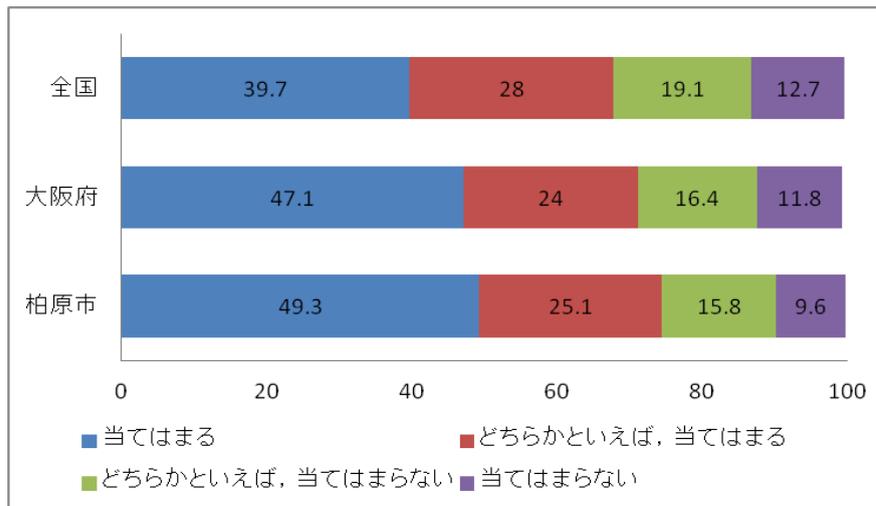
文章力

400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか

小学生



中学生

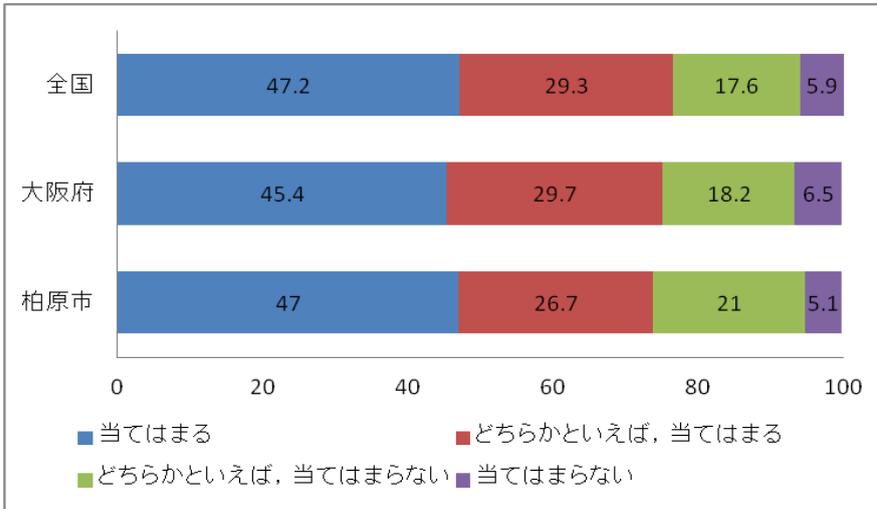


文章を作成することを苦手としている児童生徒が全国及び府の平均より多い傾向にある。

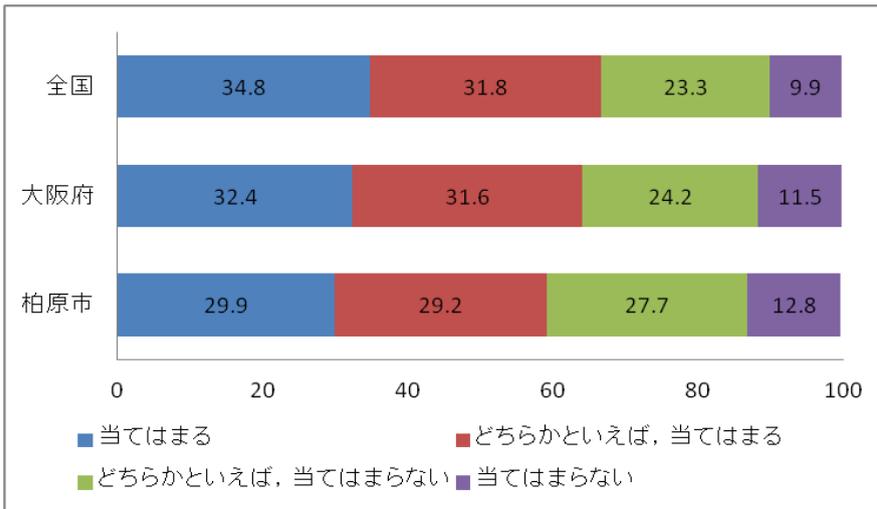
家庭での会話

「家の人(兄弟姉妹除く)と学校での出来事について話をしています

小学生



中学生

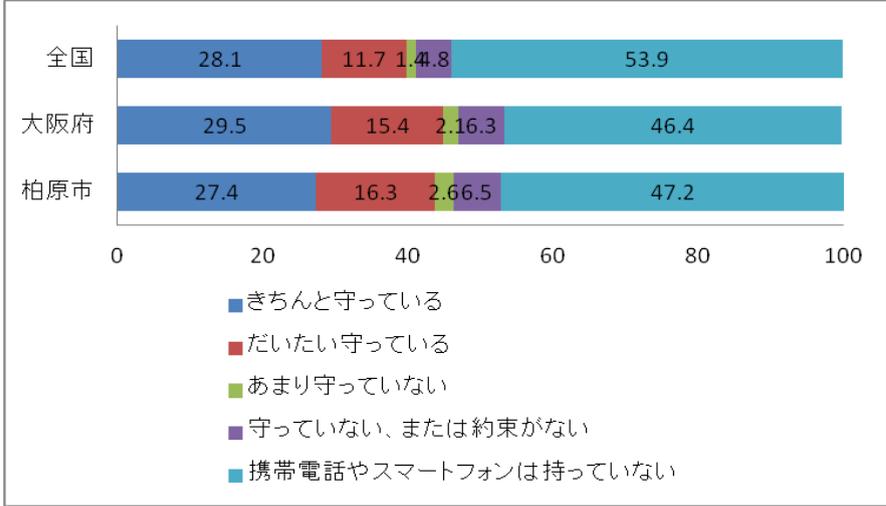


中学生が全国及び大阪府平均に比べ家庭で会話が少なくなっている傾向がある

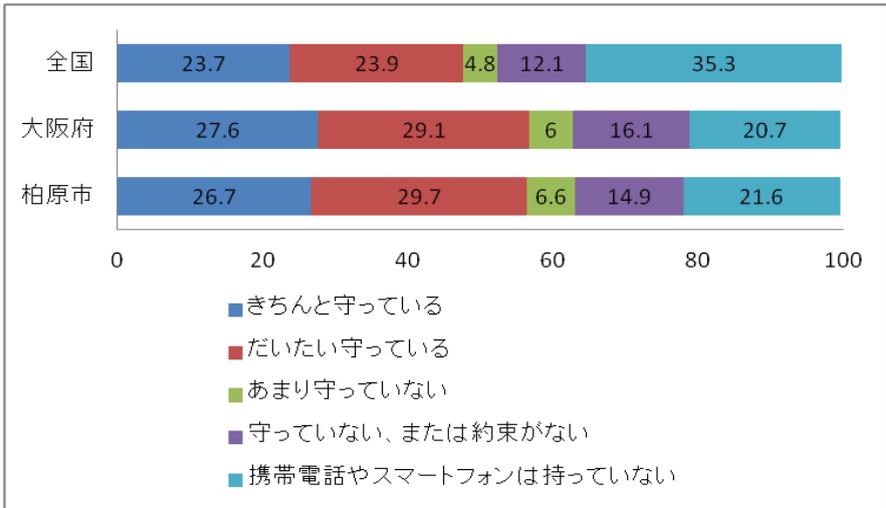
携帯電話

「携帯電話やスマートフォンの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか」

小学生



中学生

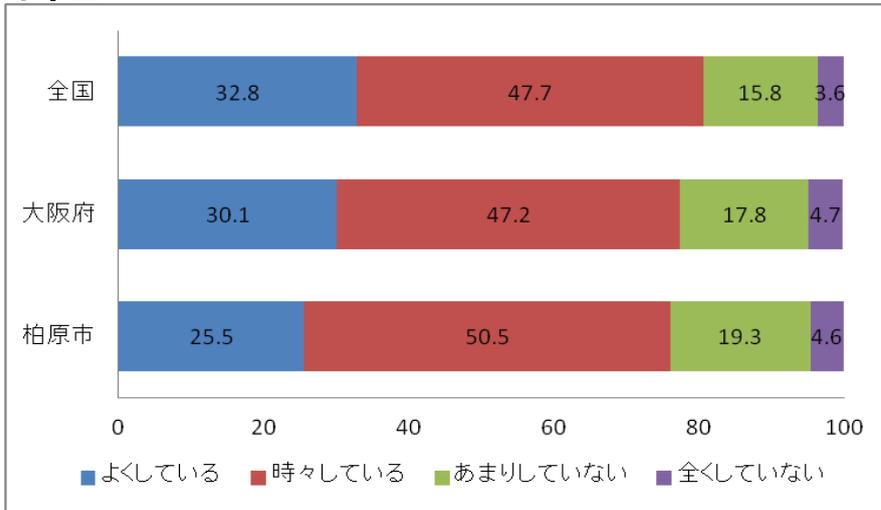


中学生では携帯電話等の所有率が増加する。所有者の19%が約束を守っていない、または約束がない状態である。

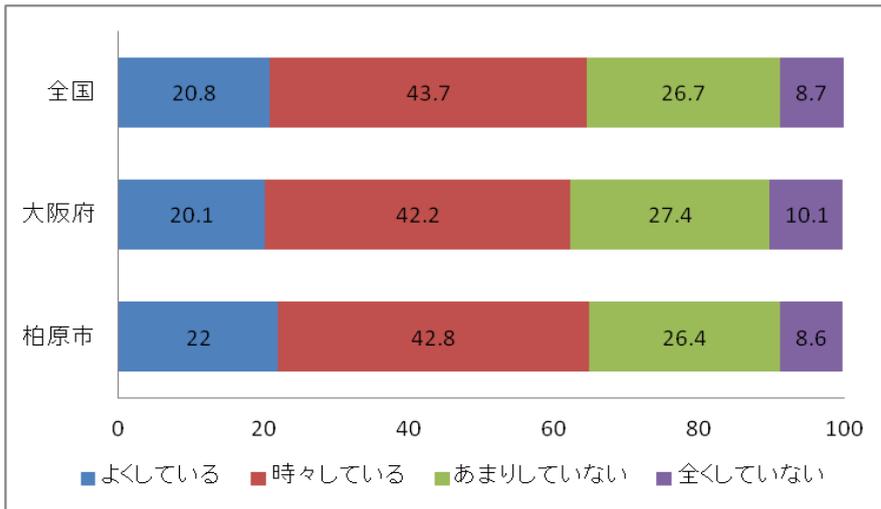
家庭での役割

「家の手伝いをしていますか」

小学生



中学生

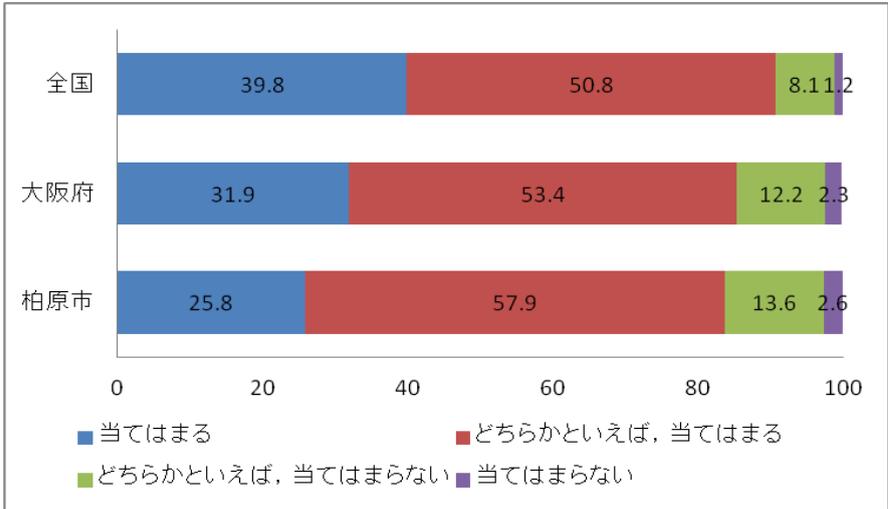


本市・全国・府全てにおいて中学生になると家の手伝いをする生徒の割合が減少する。

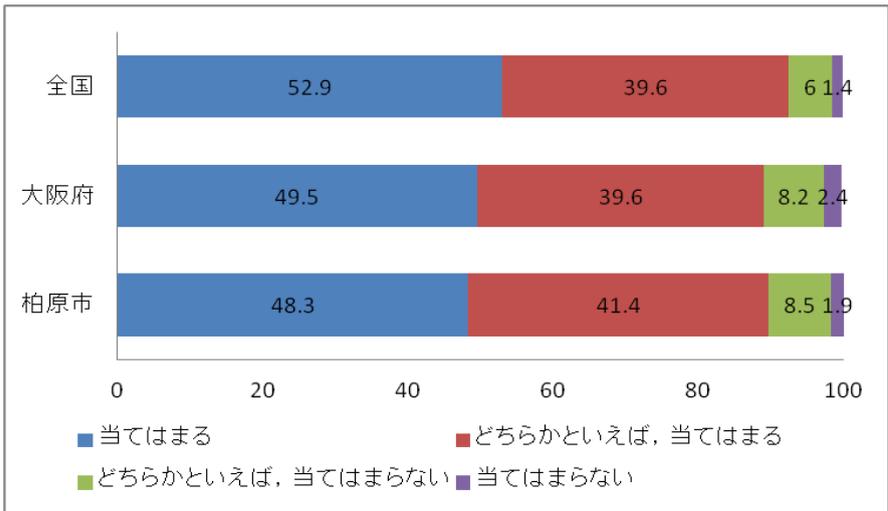
規範意識

「学校の規則(きまり)を守っていますか」

小学生



中学生

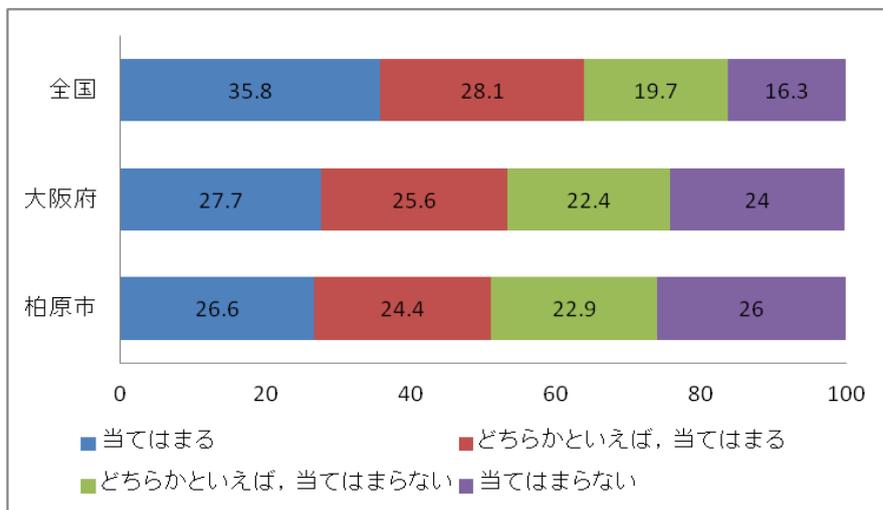


児童は全国及び府平均を下回っているが、生徒は府平均を上回り全国平均を下回っている

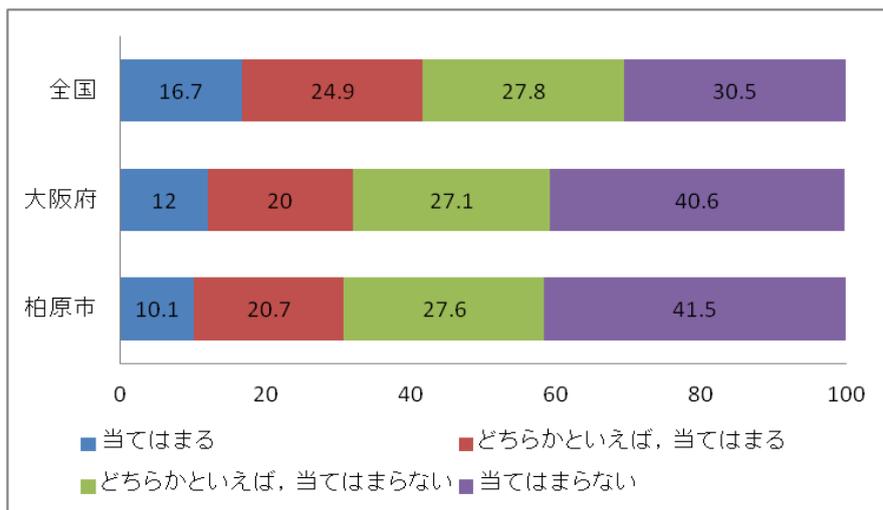
社会に対する興味、関心

「今住んでいる地域の行事に参加している」

小学生



中学生



昨年同様、地域行事に参加している児童生徒の割合は大阪府平均より低く、全く参加していない児童生徒が増加の傾向である。